

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

5月

■パン製造 【県内全域】

4月末日に廃業で組合員1名の脱退があった。

■漬物製造 【県内全域】

ここへ来て脱退希望者がでてきている。

■味噌製造 【県内全域】

仕込み量の減少で、出荷、在庫ともに減少している。原料の大豆が半年振りの高値になった。

■めん類製造 【県内全域】

5月中旬に原料の小麦粉の値下げがあったが、最近2年間の値上げ幅に比べると、わずかであり、麺価額を据置いたの販売努力が続いている。

■製材 【県内全域】

大型連休により入荷量、売上とも減少した。組合としては大量に売れる時代ではないので、品揃えを多くする様に取り組んでいる。

■印刷 【県内全域】

売上げはGW等休日が多かった影響もあり良くない。

ようやく用紙、刷版（PS版）の値下げが始まったが、まだ全社

に浸透していないようだ。

■生コン製造 【県内全域】

前年度が2年連続の大幅減少で、業界始まって以来の下落。

■電気鍍金 【県内全域】

月を経る毎に景況が悪化してきている。

■鉄工 【千葉】

受注動向に下げ止まり感が見られるようになってきたが、極めて低水準であることから、景況改善にはほど遠い状況にある。

■総合卸売 【千葉・東京都】

ガソリン価格の上昇と輸出のコストアップがあった。

■食肉卸売 【千葉市他】

牛肉の消費が減少しつつあるが、豚肉は不変である。

■建築材料卸 【県内全域】

前月より更に落込みが激しい。前年より2割減少が続いている。メーカーは減産しているが流通在庫は増えている。

■小売 【柏】

休日の来街者が減ってきている。夏物に商品が変わったが、既に値引き販売が行なわれている。

■電気機器小売 【県内全域】

国のエコポイントが決まることで、大型店を中心に回復基調にある。しかし、我々組合員には未だ恩恵には浴していないが、消費者の前向きな姿勢に期待している。

■小売 【大網白里】

GWの客数は増加し、これに伴い売上も増加したが、1人当りの客単価は減少する傾向にあり、節約をしながら遊ぶ、パターンであることが分かった。

■中古車販売 【県内全域】

直販動向に不透明感が目立ち、積極的な仕入は控える姿勢が見える。タマ不足に拍車がかかるかもしれないという背景があるにもかかわらず、弱含みの極めて意外な展開である。

■小売 【東金】

GWは、前半はまずまずであったが、後半はブレーキがかかってしまった。母の日セールの状況も芳しくなかった。工夫はしているが、購買単価が下がっている。

■農業機械販売整備 【県内全域】

業界では新品の農機販売を基本にしているものの、技術活用、地域活用等収益源の多角化を図っている。

■自動車・自転車小売 【県内全域】

春の需要も終わり、各店は息づいてるところか。自転車の販売台数は減少すると思う。

■小売・サービス 【柏市】

飲食店の落込みが大きいようだ。衣料品は未だに低価格競争がとまらない。

■建設揚重 【県内全域】

安価での競争が激しく、受注価格の低下、需要の減少で先行きが不安である。

■自動車一般整備 【県内全域】

最悪期を脱しつつあるように思うが、依然厳しい状況。ハイブリット車等に対応した新しい修理技術の習得が急務となっている。

■遊覧船 【鴨川】

有料道路の料金値下げや天候等に支えられた。しかし、旅行者者の中には、泊が日帰りとなるケースが増えているといっていた。

■一般廃棄物処理 【千葉】

前月比では変化はないが、前年同月比では悪化している。5月から食品リサイクル事業を開始した。

■土木建築サービス 【県内全域】

政府の緊急経済対策予算が千葉県の6月補正予算に計上され、平成9年度から続いた普通建設費の削減が前年度比7.7%の増額となった。政府の緊急経済対策も建設関連には未だ、好転する状況ではない。

■ソフトウェア 【県内全域】

景況は引き続き厳しい状況にある。

■建設 【県内全域】

今月も市町村からの発注が中心であった。入札状況は、相変わらず厳しいものがあり、資金が回転しているという現状である。下請セーフティネット融資制度及び、地域建設業経営強化融資制度について利用度を高めたいと思う。

■貨物運送 【野田】

先月初め頃は、物量が増えてくる感じだが、まだまだ景況改善の兆しには程遠い気がする。

■輸出入 【県内全域】

新型インフルエンザなどの影響で、客数及び売上げともに減少している。組合員2社が脱退した。